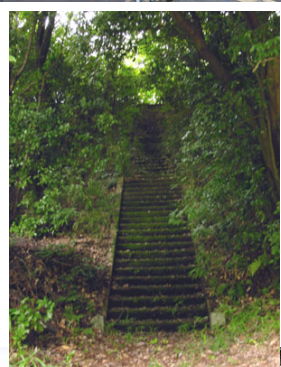




**⑧八幡神社 (左)**  
 本堂の屋根には織部焼きのりっぱな龍が飾られている。  
 りっぱなアベマキの木が数本ある。

**⑥東光寺 (右)**  
 臨済宗妙心寺派に属し定光寺の末寺。永正元年(1504)京都の雪心という坊さんが開いた。



# 名刹・史跡

**⑤小金山感応寺 (上)**  
 天平六年(734年)行基が小金山神社を鎮守として創建したという。俳句寺としても親しまれ、門内には、多くの句碑がある。  
 なお、小金山神社は、昭和19年、現在の小金山町の山に遷座した。  
 右の写真は旧小金山神社の階段跡。



## ⑨御林方奉行所の石垣跡 (左)

1661年尾張藩主は、水野権平正勝に、春日井、愛知、知多3郡の1部と東濃の一部の山林を管理させたという。水野家の墓は、奉行所の裏の藪の中にあつたが、最近菩提寺である感応寺の墓の最上部に移された。(写真右上) 石垣は民家の際にあり、分かりにくい。付近には井戸跡もある。



**⑪水野焼中興之祖碑 (左)**  
 明治時代に水野の陶器産業を發展させた人達を記念して建てられた。水野には他にも数多くの碑がある。



北脇用水の近くの水野川(下)左の道路下にトンネル用水がある。



# 用水

②入尾用水



北脇用水(右上・左)は大イチョウから180m上流の堰堤まで掘られたトンネルの用水。用水は江戸時代に掘られたと考えられる。内部は幅70cm高さ1.1m。左上の写真は泥を掃除する排水口。入尾用水(上)水野川の急峻な谷あいにある。江戸時代の古地図にもある。写真は現在のコンクリート製。155号線沿いのはしご段を下りたところにある。歩道がないため車に注意!

# 古道



①水野の古道



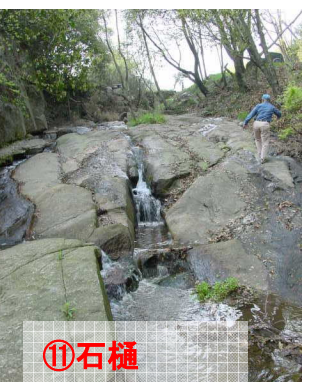
⑦殿様街道

徳川家ゆかりの定光寺にむかう「殿様街道」(左)途中で車は通れなくなる。  
 水野から入尾・高蔵寺にむかう古道(上)国道155号線の上にある。途中にめはな温泉跡がある。

# 自然



③目鼻石



⑪石樋

目鼻石(左)  
 155号線「目鼻石バス停」北にある。車の往来に気を付け木の柵を超えて下りる。  
 石樋(右)  
 県道沿いにあり小さな標識がある。いずれも江戸時代の尾張名所で紹介された。